

「学生時代に身に付けておくべき事」第6弾

新時代の幕開け「令和」5月に入り学生諸君も本格的に勉学・部活など始動した事と思います、進学した在学生の皆さん！学年も変わり立場もおのずと変わりました、又新入生諸君も高校時代と環境が変わり不安と希望に満ち溢れている事と思います、それぞれの立場・環境が変わるとどうなりますか？考えたことがありますか？ 次のステージ社会人になって企業の中（役職に就く等）でも同じ事が言えます、以下**人生の転機**があった際はその都度ぜひ考える様にして下さい。 そこでひとまずこの機会なので

第6弾として<大学の学年別・心構え>について述べます!!

4年生→「責任」社会人になる前、組織の中にあって何をすべきかをよく考え
最上級生として**責任ある行動・言動**でチームをまとめ下級性の良き見本となる事！また**伝統の良き所は後輩に引き継ぐ**役割でもある。

3年生→「自覚」自分の置かれた立場をしっかりと**自覚**し自分のやりたい事を
思う存分出来る学年！「**真の実力を身に着け**」それを**発揮**すべき年です。

2年生→「実行」大学生活に慣れ、勉学・クラブ活動等あらゆる生活リズムも
つかみ改めて自ら思う事もできる年である！**あとはやるしかない！**
人間的にも卓球面でも大きく伸びる年である

1年生→「挑戦」大学生活すべてが初めてであり積極的に**チャレンジ**していく
気持ちが大事！緊張する事で人間・卓球面間違いなく伸びる年です！

*これまで大学の元監督としてチームを見てきた中で感じる事は

1～2年間で部の中の立場が出来上がる事が多く、中には後輩から追いつかれ時には追い抜かれチームの必要性が段々と希薄となる選手も多々います、
そのような選手を見ると生活リズム全体が慣れ合い・惰性と楽な方に流れ孤立化に進む事多くその場合同級生・上級生が気付いたら話し合い・相談できる
チームの和で再スタート出来る状態を作る事！この仲間愛・チームワーク力が大事です。

2019年5月1日

日本学生卓球連盟 副会長 鈴木 一雄